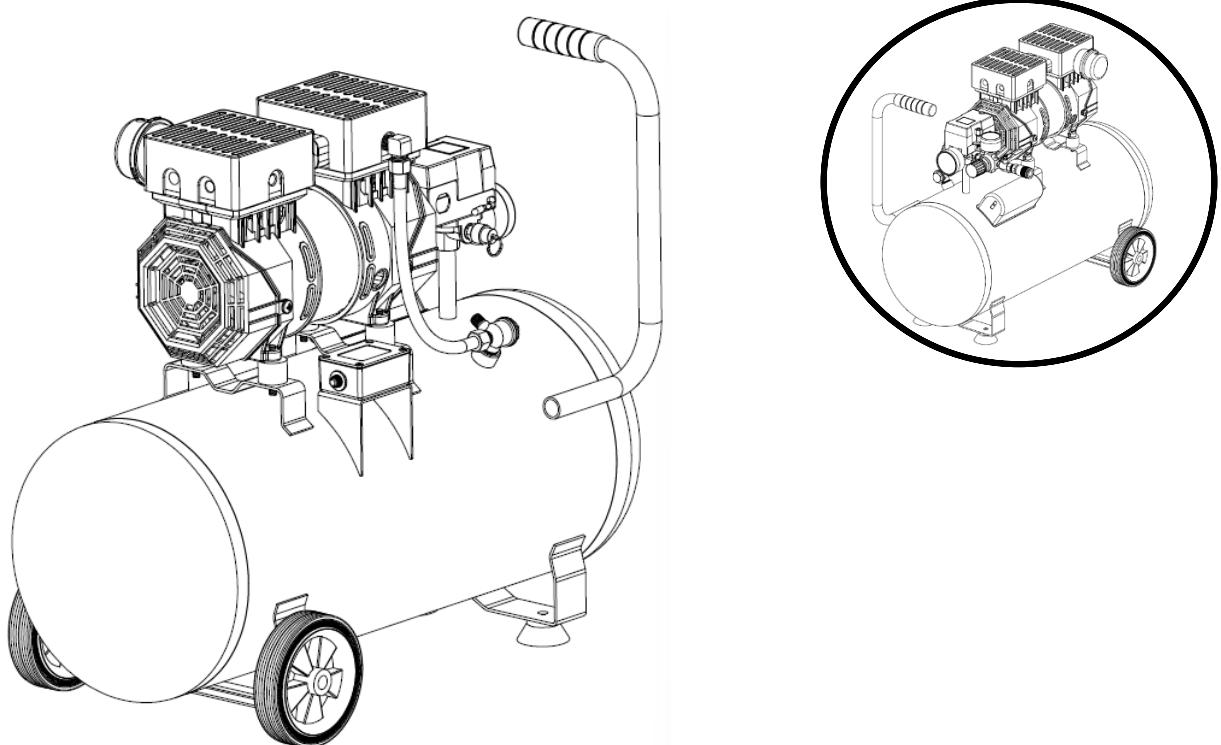


オイルレス  
エアーコンプレッサー  
PC-250SC

取扱説明書

この度は、弊社の『PC-250SC』オイルレスエアコンプレッサーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ず取扱い説明書を充分お読みください。尚、本体を譲渡、又は貸出しする際は本取扱い説明書を必ず添付し、譲受(借手)の方は必読し充分にご理解されてからご使用ください。



株式会社 麻場

この度は、電動式オイルレスエアーコンプレッサーをお買い上げいただきまして誠に有難うございます。  
 本製品で安全な作業をしていただくために、ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。  
 又、この取扱説明書は本製品を使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。  
 尚、本製品を貸し出し、譲渡する場合は必ず取扱い説明書を添付頂き、借受け、譲受け、された方は取扱い説明書を熟読し適切なお取扱いをお願い致します。  
 ご不明の点がある場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

## 目 次

安全上のご注意	1
1.ご使用前の注意確認事項	2
2.絵文字表示の内容	2
3.注意事項	2～3
4.警告	3～5
5.仕様	5
6.付属品	5
7.各部名称	6
8.設置・保管場所	6～7
9.運転	6～7
10.保守と点検	8
11.保護装置	9
12.トラブルの原因と対策	10
13.保証	11

### 安全上のご注意

#### 取扱説明書に従い安全にご使用ください

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。



誤った取扱いにより、傷害を負う可能性又は物的損害の可能性のあるもの。重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 本文中で使用される“絵表示”的意味は次の通りです。

	回転中は駆動部に注意、可燃物注意		指示を守る		禁止
	電源プラグを抜く		アース線接続		機械の水ぬれ禁止
	取扱説明書をよく読んでください		可燃物のそばで使用しないでください		ぬれ手での接触禁止
	作動部品に手や指を挟まないよう十分ご注意ください		移動及び操作時に手をはさまないように注意してください		子ども、動物などは本体に近付けないでください

## 1: ご使用前の注意確認事項

- ご使用になる前に安全上の注意事項をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
- 本書に記載された注意事項を守らないと、人身事故や機械の破損等に繋がる恐れがありますので必ず注意事項を守るようにしてください。

## 2: 絵文字表示の内容

### 〈警告〉

使用を間違った場合に、使用者が、死亡または、重傷、物的損害が想定される内容を表記しています。

### 〈注意〉

使用を間違った場合に、物的損害や、傷害を負う危険性がある内容を表記しています。

## 3: 注意事項



注意

- 使用前や定期的に、各部に異常、不具合、損傷・破損がないか点検してください。異常、不具合、損傷・破損がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社まで問い合わせください。
- 商品の運送途上の衝撃等により、商品が破損したり、取付け部品が外れたり、曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して不具合が見つかりましたら、即弊社か運送会社にご連絡お願い致します。
- 本製品は、エアーコンプレッサー使用に関する十分な知識をお持ちで、作業経験豊富な方を対象に作られています。本製品の使用方法が不明、または作業経験のない方は、本製品を使用しないでください。
- 過労と思われるときや、飲酒や薬物を服用しているときには、絶対に使用しないでください。注意力散漫、判断力の低下など、正しく使用できない可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかりと締め付けられているか確認してください。
- 風通しが悪く、換気のできない場所に設置しないでください。本体温度上昇に伴う性能低下、本体故障、モーターの焼き付きや、火災の原因となります。
- エアクリーナーは、必ず取り付けてください。ゴミやホコリ、粉塵などが吸入され、本体故障の原因となります。
- 運転中、機械の調子が悪いと感じたり、異常に気付いた時には、直ちに使用を中止しご購入販売店にご連絡ください。
- 本製品を安全にご使用いただく為、使用環境に合わせて、以下の保護具を着用してください。安全手袋、保護メガネ、防塵マスク、安全帽、安全靴、作業ツナギや 長袖・長ズボン
- 周囲に引っ掛かったり、巻き込まれたりするなど、ケガをする恐れや事故の原因となりますので、長髪を束ねずに、そのままの状態にしている、ネックレスなどの装身具を身に付けている、サイズが極端に大きい服装を着用している等、安全に作業が行える服装でご使用ください。
- 使用中、本体が異常に熱い、異音・異臭がする、不具合、損傷・破損があった場合は、ただちに使用を中止してください。異常などがある場合は、お買い求めの販売店、または弊社まで問い合わせください。
- 整備点検、部品交換の際は、必ず電源スイッチを OFF にしてコードはコンセントから抜いてください。
- 保管するときは、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。再使用時に突然動作する可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 製品は大事に扱ってください。誤って落としたり、ぶつけたりした場合は、異常の有無を確認してください。
- 連続使用可能時間は 30 分です。モーターに損傷を起こす恐れがあるので 30 分使用後はしばらく作業を停止してください。10 分以上冷まして、手で触れても冷めていることを確認したら、再度ご使用ください。
- 運転中は可動部には手を触れないでください。大変に危険です。
- 振発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くでは絶対に使用しないでください。
- 能力を超えた作業は事故の原因となります。また、著しく耐久性を低下させる場合がございますので、ご注意ください。

- 作業の能率や安全のために、使用説明に従って、各部品がしっかりと取り付けられているか確認してください。
- 安全な作業をするためには、作業場所は常にきれいに整理をし、十分な採光が必要です。散乱した作業場所は事故の原因となります。
- エアーアルバート類は使用後、本機からすぐに取り外すようにしてください。
- 本製品に貼り付けている重要ラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。誤った使い方をする可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 周囲への安全確認を確実に行ってください。作業手順や周辺の状況を、確認してください。事故を招く可能性があります。
- エアーホースを接続するときは、エアーコックを閉め、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。突然起動する可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 受け口を増設した電源には接続しないでください。出力数値を超え、ブレーカーが作動する可能性があります。
- 作動中や使用後は、モーターや吐出管が高温になります。ヤケドをする恐れがあるので、冷めるまでは触れないでください。
- 保管するときは、エアーアルバート類を取り外してください。エアーホース等に引っ掛かるなど、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 高温、多湿、結露する場所、塵やホコリがあり掃除されていない場所に設置・保管すると、エアクリーナーの劣化、本製品内部にゴミや塵が入り、製品の耐久性を著しく劣化させ、本体故障の原因となります。点検・修理の際に本製品内部からゴミや塵が多く発見された場合、保証対象外になることが御座います。常温で、清潔な場所に保管してください。
- 特殊精密機械の常時接続やエアーコンプレッサーの選定は、その機械の製造会社にお尋ねください。本製品の性能を超えた使用にならない様に十分ご注意ください。弊社が関与しない接続機器との組み合わせによる、誤操作などから生じた損害に関して一切の責任を負いません。圧縮空気の取り扱いを誤ると、重大な事故の原因となりますのでご注意ください。
- 圧縮空気には水分が含まれています。そのままの状態でエアーアルバートを使用すると、内部が酸化しサビによる故障原因となります。水分・オイル除去装置で水分を除去し、常に清潔で乾燥した圧縮空気を使用してください。
- 製品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合があります。購入製品と改良品は、性能などが異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- エアーホースやエアーアルバート等の接続および取り外しは、必ずタンク内圧力を 0MPa にしてください。勢いよく外れ、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 安全弁作動圧力値を、絶対に調整しないでください。安全弁作動圧力値を調整すると、本体故障、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 安全弁が作動すると、勢いよく圧縮空気が吹き出し、大きな音を伴いますので、近づかないでください。顔などを近づけると、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 作業終了時にタンク内エアーアルバートを抜く際は必ずタンク下のドレンコックから排出してください。安全弁から故意にエアーアルバートを抜かないでください。安全弁が誤動作する原因になります。
- 最高使用圧力値を、絶対に調整しないでください。最高使用圧力値を調整すると、本体故障、発熱、発火、火災など、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 水を使っての洗浄は禁止です。本体故障の原因となります。

#### 4: 警 告



- 壁や設置物より、1m以上離して設置してください。通気性が悪く冷却不良により、性能低下、本体故障、モーターの焼き付きや、火災の原因となります。
- 設置環境温度は、5度～40度です。5度を下回ると、凍結により作動不良の原因となります。また、40度を超えると、モーターの焼き付きや火災の原因となります。
- 直射日光下、暖房器具や温度上昇する機器の側で、使用しないでください。本体温度上昇に伴う性能低下、本体故障、モーターの焼き付きや、火災の原因となります。

- 本製品は、屋内専用です。屋外での使用は禁止です。屋外での使用は、性能低下、本体故障、発熱、発火、火災など、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 本製品は防滴・防水仕様ではありません。水や雨水がかかる恐れのある場所や、多湿となる恐れのある場所では、使用しないでください。本体故障、漏電、感電、発煙、発火の事故の原因となります。
- 圧縮空気は、強い圧力で吹き出すので、人や動物に向けないでください。ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 停電や雷の発生時には、電源を OFF にし、電源プラグをコンセントより抜いてください。モーター接点から火花が発生する可能性があり、発煙、発火、火災など、重大な事故の原因となります。
- 本製品は、AC100V 電源専用機械です。直流電源や発電機、他の電圧では使用しないでください。作動不良による故障、発熱、発火、火災など、事故の原因となります。
- 発電機の出力電源をコンプレッサー電源としてのご使用は厳禁です。機器故障につながります。
- 本製品は起動時に、定格消費電流が、瞬間的に大量に必要となり、発電機を電源とすることはできません。発電機を電源とした場合、低電圧となりモーターやコンデンサーの焼損、発熱、発火、火災など、事故の原因となります。
- AC100V-15A 以上のコンセント、および 20A 以上のブレーカーが設置されている電源を使用してください。200V などの高電圧で使用すると、発熱、発火、火災など、事故の原因となります。また、低電圧で 使用すると、モーターの焼損など本体故障の原因となります。
- 振発性可燃物の(シンナー・ガソリン等)の傍では絶対に使用しないでください。
- 振発性可燃物やガス管には、絶対にアースしないでください。爆発の恐れがあり、大変危険です。
- 修理技術者以外の人は、取扱説明書に記載されていない、本体の分解、修理、改造をしないでください。異常作動、過熱、発火、火災など、重大な事故の原因となります。
- 子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を使用しないでください。
- 使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、束ねたりしないでください。また、電源コードの上に、物を載せた状態で使用しないでください。電気の流れが悪化し、断線、漏電、感電、火災など、事故の原因となります。
- 電源コードに、キズや被覆の破れなどの損傷がある場合は、使用しないでください。電源コードの損傷は、漏電、感電、過熱、発火、火災など、事故の原因となります。
- 電源コードおよび電源プラグを、加工しないでください。断線、漏電、感電、過熱、発火、火災など、重大な事故の原因となります。
- 電源コードを持って、移動しないでください。断線、漏電、感電、火災など、事故の原因となるので、必ず運搬ハンドルを持って移動してください。
- 電源コードを、振り回す、引っ張るなど、乱暴に扱わないでください。ケガをする恐れや、断線、漏電、感電、火災など、事故の原因となります。
- 電源コードが、周囲に引っ掛かったり、開閉部や可動部に挟まつたりしないよう、取り回しに 注意してください。・断線、漏電、感電、火災など、事故の原因となります。
- 電源コードを、AC100V コンセントより引っ張って抜かないでください。必ず、電源プラグを持って抜いてください。断線、漏電、感電、火災など、事故の原因となります。
- 電源コードは束ねず伸ばした状態でご使用ください。束ねて使用すると電気の流れが悪化し、電源コードが過熱し、発煙、発火、火災などの重大な事故を招く恐れがあります。
- **本製品が動作中に突然コンセントを抜いて、電源 OFF にする行為は禁止です。再起動の際にエアーアー圧の負荷がかかり、再起動できずモーターが過熱し、発煙、発火、火災などの重大な事故を招く恐れがあります。本製品電源の ON/OFF は電源スイッチから行ってください。**
- 低電圧で十分な電源が確保できない状態で、気付かぬ間に本製品が動作しなくなった状態が継続すると、モーターが過負荷になり、過熱し、発煙、発火、火災などの重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。**モーターの動作が重い、動作音に異常がある、動作したり停まつたりする動作が繰り返**

されるなどの症状がある場合は、電圧不足が考えられます。直ちに使用を止め、電源 AC100V 15A 以上を確保できる環境下でご使用ください。

- やむを得ず延長コードを使用するときは、伸ばし切った状態で使用してください。指定された延長コードを使用してください。(20A 以上推奨) 指定外の延長コードの使用は、火災の原因となります。
- 電源スイッチをONにした状態で、電源プラグをAC100Vコンセントに、接続しないでください。接続とともに起動するため、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 作業を中断するときや作業終了後は、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントより抜いてください。再使用時に突然作動する可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 本製品は、吸い込んだ空気を圧縮し、圧縮空気を作る機械です。本製品の圧縮空気は、空圧工具の動力として用いることができます。本来の用途以外で使用すると、本体故障、ケガをする恐れや事故の原因となります。誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責任を負いかねます。
- 濡れた手で触れるまたは身体をアースさせる物に、接触させないでください。感電する恐れがあります。
- アースクリップを、アース端子またはアース線に接続してください。漏電により、感電する恐れがあります。
- 使用方法を誤ると、火災や爆発が生じる恐れがあります。必ず消火器を準備してください。消火器が準備できない場合は、使用しないでください。

## 5:仕様

型式	PC-250SC		
電源	単相 100V 50/60Hz	消費電力	600W(50Hz)/670W(60Hz)
電流	6.2A(50Hz)/6.9A(60Hz)	安全弁設定圧力	0.86MPa
使用圧力	0.78MPa	再起動圧力	0.59MPa
無負荷回転数	1400 rpm(50Hz)/1700rpm(60Hz)	カプラ接続口	Rc1/4 エアーコック付
吐出量	82L(50Hz)/99L(60Hz)/min	本体寸法	590×320×515mm
連続使用可能時間	30 分	コード長さ	約 2m
タンク容量	24L(スチール)	騒音	67dBA
重量	19kg	使用環境温度	5°C~40°C

※ 改良のため、製品の外観・仕様・写真等が変わる場合があります。

## 6:付属品

- ① カプラ × 1      ② シールテープ × 1      ③ エアーフィルター × 1



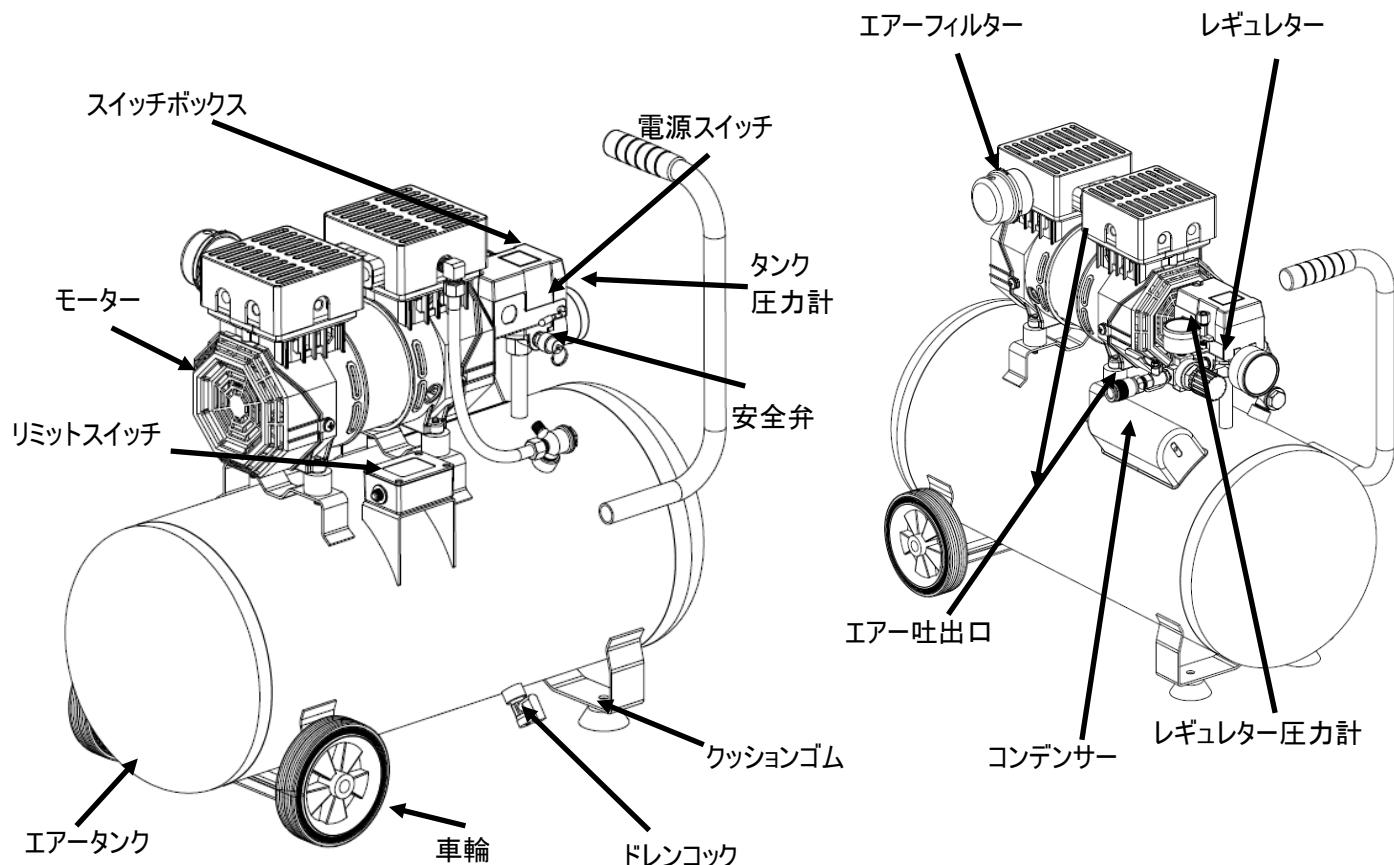
④エアーホース (カプラ付) × 1



⑤エアーダスター (カプラ付) × 1



## 7: 各部名称



## 8: 設置・保管場所



### 注 意

- ・本機は、お子様の手の届かない所に保管し、温度の高い所、雨のかかる所、直射日光のある所は避け、チリ・ホコリが少なく風通しが良い場所を選んでください。
- ・点検し易いよう、壁から 30cm 以上離して平らな場所を選んでください。
- ・室温は 40°C を超えないようにしてください。
- ・清浄な空気が吸入できる場所を選んでください。チリ・ホコリの多い所では、フィルターの目詰まりにより空気量の低下やシリンダー、ピストンを傷つけ、性能が落ちる事があります。

## 9: 運転

### ① スイッチ

スイッチレバーは、OFF で切る、ONで起動します。

### ② 起動する前のお願い

付属品・部品を取り付ける。各部名称図を参考にエアーフィルターをコンプレッサーに取付けます。取付けはエアーフィルターを時計方向に回して締め込みます。次にエアーカプラを取付けます。エアーカプラネジ部に付属のシールテープを巻きます。巻き方はエアーカプラをネジ側から見て時計方向にネジ先端から一山程度残して 4~5 重に巻いてエアーコックのメスネジ部に締め込みます。



### ③ 圧力装置

本機の使用圧力 0.78~0.81MPa (8~8.3kgf/cm<sup>2</sup>)になりますと、自動的に圧力スイッチが作動して OFF の状態になり、圧力が 0.59~0.64MPa (6~6.5kgf/cm<sup>2</sup>)まで下がりますと再び起動し始めます。

### 注 意

圧力 0.78~0.81MPa (8~8.3 kgf/cm<sup>2</sup>)で圧力スイッチが働かず圧力が上がっても、0.86~0.98MPa (9~10kgf/cm<sup>2</sup>)で安全弁が作動し圧力を下げる構造になっております。

### ④ 始動

スイッチをONにします。モーターが起動し空気がタンク内に溜まります。

圧力 0.78MPa (8kgf/cm<sup>2</sup>)で圧力スイッチが作動しモーターが停止します。

この間スイッチを切って途中で止めたりしないでください。

吐出口のカプラソケットにエアーホースカプラ(プラグ 1/4in)を押込みます。抜く際はリングを押し、外してください。

## 10: 保守と点検

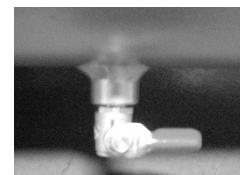


- ① エアーフィルターは、定期的に交換をしてください。年に一回を目安としますが、汚れがひどい場合は、本機能を低下させないためにも早めの交換をおすすめいたします。  
※ 補修部品(別売)は弊社に用意してあります販売店にお問い合わせください。

- ② 下記の図のドレンコックから水抜きを行ってください。その際一気にドレンコックを開きますと圧縮された空気とサビが混じった水が飛び散り、失明や耳を傷めさらに周囲を汚しますので注意してください。トレイなどを置いてドレンコックを少しづつ開いて排出してください。



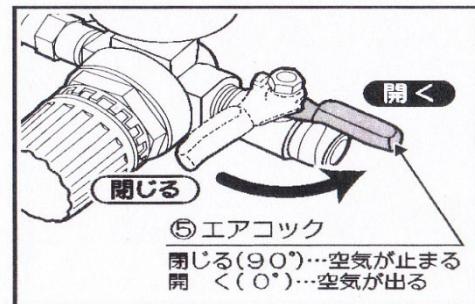
ドレンコック



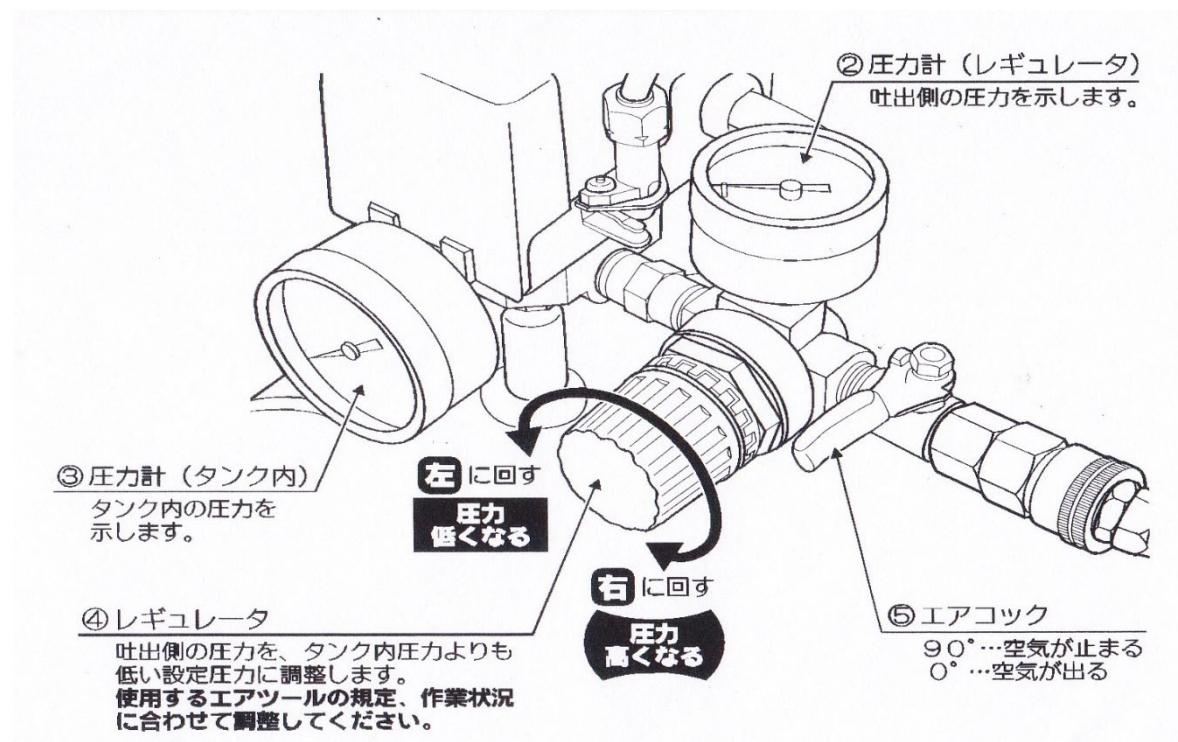
- ③ 必ず水抜き作業を行ってください。  
エアーを圧縮すると必ず水が発生します。サビ防止のため、使用後はエアータンク内の水抜きを行ってください。

- ④ 作業終了後は、エアータンク内のエアー抜きを行い、  
タンク内は空にしてください。

- ⑤ レギュレーターに関して  
※吐出圧はレギュレーターの  
つまみ調整で決めてください。

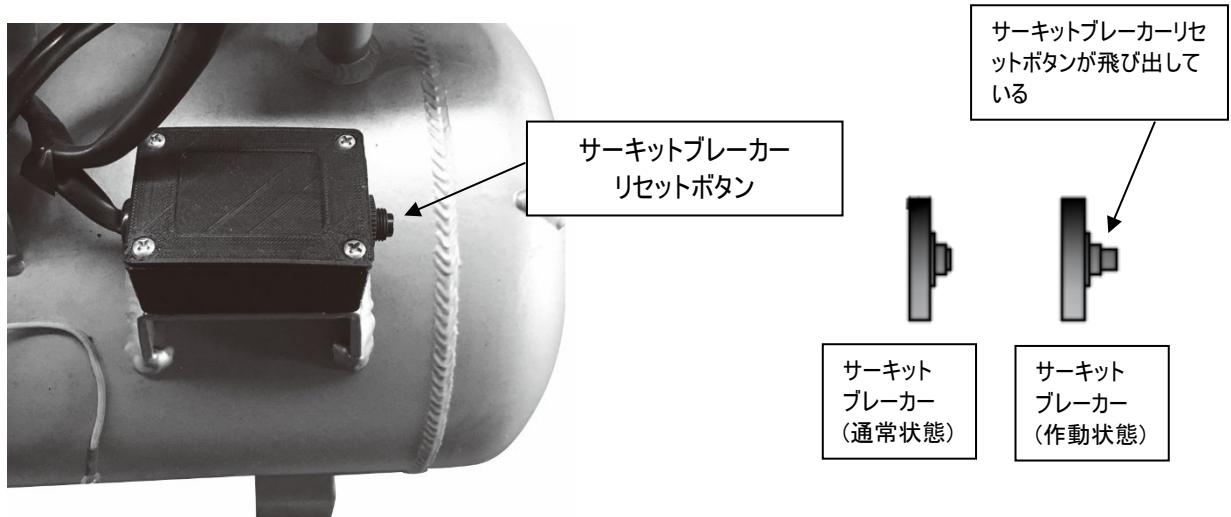


- レギュレータを右に回す…吐出圧力が高くなる  
○レギュレータを左に回す…吐出圧力が低くなる



## 11: 保護装置

- ・本機には能力を超えた作業によるモーターの焼損を防止するサーキットブレーカーを装備しています。サーキットブレーカーリセットボタンが飛び出しているれば作動状態です。
- ・運転スイッチを入れる前にサーキットブレーカーが作動していないことを確認してください。
- ・運転中に規定の停止圧力になる前に停止した場合は、サーキットブレーカーが作動したことが考えられます。
- ・サーキットブレーカーが作動した場合は、次の手順で復旧してください。
  - ①電源OFFにして、3~5分放置してください。
  - ②サーキットブレーカーリセットボタンを押し込み、通常状態にします。
  - ③電源ONにして、モーターが起動することを確認してください。
  - ④根本原因が継続している場合は、サーキットブレーカーが再作動しますので、根本原因を取り除いてください。



## 12: トラブルの原因と対策



### 故障の種類

### 原因

### 対策

圧縮機が回転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>コードが外れている</li> <li>延長コードが長すぎる</li> <li>タンク内圧力計が 約 0.59MPa(6kgf/cm<sup>2</sup>)以上になっている</li> <li>モーターの故障</li> <li>圧力スイッチの故障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確実に接続する</li> <li>規定長さと容量のものを使用</li> <li>スイッチが切れていることを確認し、 タンク内のエアーを抜き、再起動させる</li> <li>モーターの点検・交換</li> <li>圧力スイッチの交換</li> </ul>
圧力が上昇しない・ 上昇が遅い	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドレンコックが開いている</li> <li>圧力計の故障</li> <li>回転数の低下</li> <li>空気漏れ</li> <li>安全弁の作動不良</li> <li>消音器(フィルター)の汚れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドレンコックを閉じる</li> <li>圧力計の交換</li> <li>入力電圧の確認</li> <li>漏れ箇所の修理</li> <li>安全弁の調整または修理</li> <li>フィルターのエレメント交換</li> </ul>
異常音・振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置不良</li> <li>締め付け部のゆるみ</li> <li>本体各部の摩耗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置(場所)の変更</li> <li>増し締めをする</li> <li>消耗部品の交換</li> </ul>

その他、原因不明の場合はお買求めの販売店にご相談ください。

### ●メンテナンス記録

検査項目	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
本体損傷の有無						
安全弁						
水抜き						
フィルターの汚れ						
異常音・振動・その他						
検査担当者						

### 13:保証

お買い上げ頂いた弊社商品を構成する部品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、この保証書に示す期間と条件に従ってこれを無償修理致します。  
保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。尚、取外した部品は弊社の所有となります。

## 保証書

お買い上げの販売店へ本書をご記入の上ご相談ください。

品名 型式	オイルレスエアーコンプレッサー PC-250SC シリアル NO ( )		
ご購入日	年	月	日 保証期間: ご購入日より1年間
お客様	お名前		
	ご住所(〒)	電話番号( )	-
販売店	住所・店名・電話番号( )	-	

《上記欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。》

- 保証期間内でも次のような場合は有償修理又は保証対象外となります。
  - ① 使用上の誤り、保存上の不備による故障、損傷。
  - ② 改造、不当な修理による故障、損傷。
  - ③ お買い上げ後の移動、落下、転倒による故障、損傷。
  - ④ 火災、地震、水害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障、損傷。
  - ⑤ 保証書のご提示がない場合。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

#### 《免責事項》

- 圧縮空気には小さなゴミなど、不純物や水分が含まれています。本製品にエアーツールや精密機械を接続する際は、各製造会社に確認をしてからご使用ください。当社が関与しない接続機器との組み合わせによる、誤操作などから生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。
- 第三者による修理などが原因の故障や事故に関して当社は一切の責任を負いません。
- 通常とは異なる使用方法が原因の故障に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の発送、輸送の際に生じた問題に関して当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用で直接または間接的に発生した被害、損害、設備財産の損害、その他事業利益損失、第三者への影響や損害、信用、それらの修復に生じる費用(人件費・諸経費・交通費)に関して当社は一切の責任を負いません。
- ※いかなる故障・事故・法的判断であっても当社責任範囲は、製品の修理または交換のみに限ります。製品の使用による直接及び間接的に生じたいかなる損害についても、当社に故意または重大な過失がある場合を除き、一切の責任を負うものではありません。
- また当社が責任を負う場合でも重大な人身損害の場合を除き、お客様が購入された製品価格を超えて責任を負うものではありません。
- ※当社業務対応時間内に対処できない事から発生する直接及び間接的損失、損害について当社は一切の責任を負いません。
- 当社が発行する取扱説明書やその他文章、または紙面上、事務上、電子情報などに誤記や記載漏れがある場合は、当社は説明なしに修正することができます。



株式会社 麻場

本社/〒381-8530 長野市北長池 1443-2

TEL : 026-244-1317(代)

URL : <http://www.asaba-mfg.com>